

備えていますか?

# 台風・豪雨などによる風水害への対策



近年、局地的・短時間に多量の雨が降る集中豪雨や大型台風による、河川の氾濫・道路冠水・浸水被害が多く発生しています。風水害から自分や家族の身を守るため、日頃から対策をとりましょう。



## 風水害の種類を知っておきましょう

問合せ 防災危機管理課危機管理係 ☎3579-2154

風水害とは、雨や風により発生する災害です。区で起こりやすい風水害を知っておきましょう。

**内水氾濫**……ゲリラ豪雨など短時間の大雨(1時間あたり50mm以上)で、下水管の処理能力を超えてあふれる洪水のこと



**土砂災害**……地中にしみ込んだ雨水によって、急な斜面が突然くずれ落ちること

**高潮**……台風などの気圧低下による吸い上げ効果と、強風による吹き寄せ効果で海面が高くなり、堤防を越えて川の水があふれること

**外水氾濫**……台風などによって、川の水があふれたり堤防が決壊したりすること

## 日頃から備えましょう

問合せ 防災危機管理課危機管理係 ☎3579-2154

風水害に備え、区民のみなさんが家庭でできる主な防災対策を紹介します。

### ハザードマップを確認



自宅が浸水想定区域や土砂災害警戒区域に入っていないか確認しましょう。また、ハザードマップで自宅から近い避難所と、避難所までのルートを確認しましょう。

▶問合せ 防災危機管理課計画推進係 ☎3579-2159

### 備蓄をする

#### 家庭で用意しておくもの

各家庭で食料などを可能な限り7日以上備蓄しておきましょう。

- 飲料水(目安: 1人1日あたり3ℓ)
- 非常食(1人1日あたり3食分)
- 携帯トイレ(目安: 1人1日あたり5回分)
- 生活用品(マスク・懐中電灯・カセットコンロ・ライター・携帯ラジオ・ティッシュ・ビニール袋・乾電池など)



#### 非常用持ち出し袋

- 飲料水・非常食(最低限3日分)
- 衣類(下着・着替え・雨具など)
- 貴重品(現金・通帳など)
- 救急用品(常備薬・消毒液など)
- 生活用品(タオル・携帯ラジオ・懐中電灯・乾電池・ビニールシートなど)



▶問合せ 地域防災支援課地域支援係 ☎3579-2152

### マイ・タイムラインを作る

マイ・タイムラインとは、風水害の発生に備えてあらかじめ決めておく自分の避難計画のことです。「東京マイ・タイムライン」を使って、避難に必要な知識を習得しながら、適切な避難行動を整理してみましょう。

▶問合せ 地域防災支援課地域支援係 ☎3579-2152

### 防災情報の収集方法

#### 板橋区防災メール

気象庁が発表する各種気象情報、区で観測する雨量・河川水位情報、区からの緊急なお知らせなどを電子メールで配信します。



#### Yahoo! 防災速報アプリ

区が配信する避難所開設情報や、防災に関する緊急情報などを受け取ることができる無料アプリです。



#### 板橋区防災マップアプリ

インターネットに接続できない状態でも、板橋区防災マップを閲覧することができる無料アプリです。



【いずれも】

※通信料が発生します。

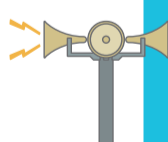
#### テレビ

NHK総合テレビ・J:COMチャンネルなどで、災害関連情報を確認できます。



#### 防災行政無線

区内165か所に設置してあるスピーカーで災害情報などを放送します。放送を聞き取れなかった場合は、24時間以内に放送されたものの最新20件の内容が電話(☎0120-357-411)で確認できます。



#### 緊急速報メール(エリアメール)

台風などの緊急時に、区からのお知らせ、気象庁が配信する大雨特別警報などが、災害発生の恐れがあるエリア内全ての携帯電話・スマートフォンに一斉配信されます。※登録不要



#### 災害用伝言ダイヤル

電話(☎171)で伝言を残すことができます。災害が発生する前に、家族と伝言のルールを決めておきましょう。



## 避難行動を確認しましょう

問合せ 地域防災支援課地域防災係 ☎3579-2151

「いる場所」と「その時の状況」で避難行動は変わります。日頃から避難先・取るべき行動を確認・検討しておきましょう。

### 警戒レベル3以上で早めの避難を! /

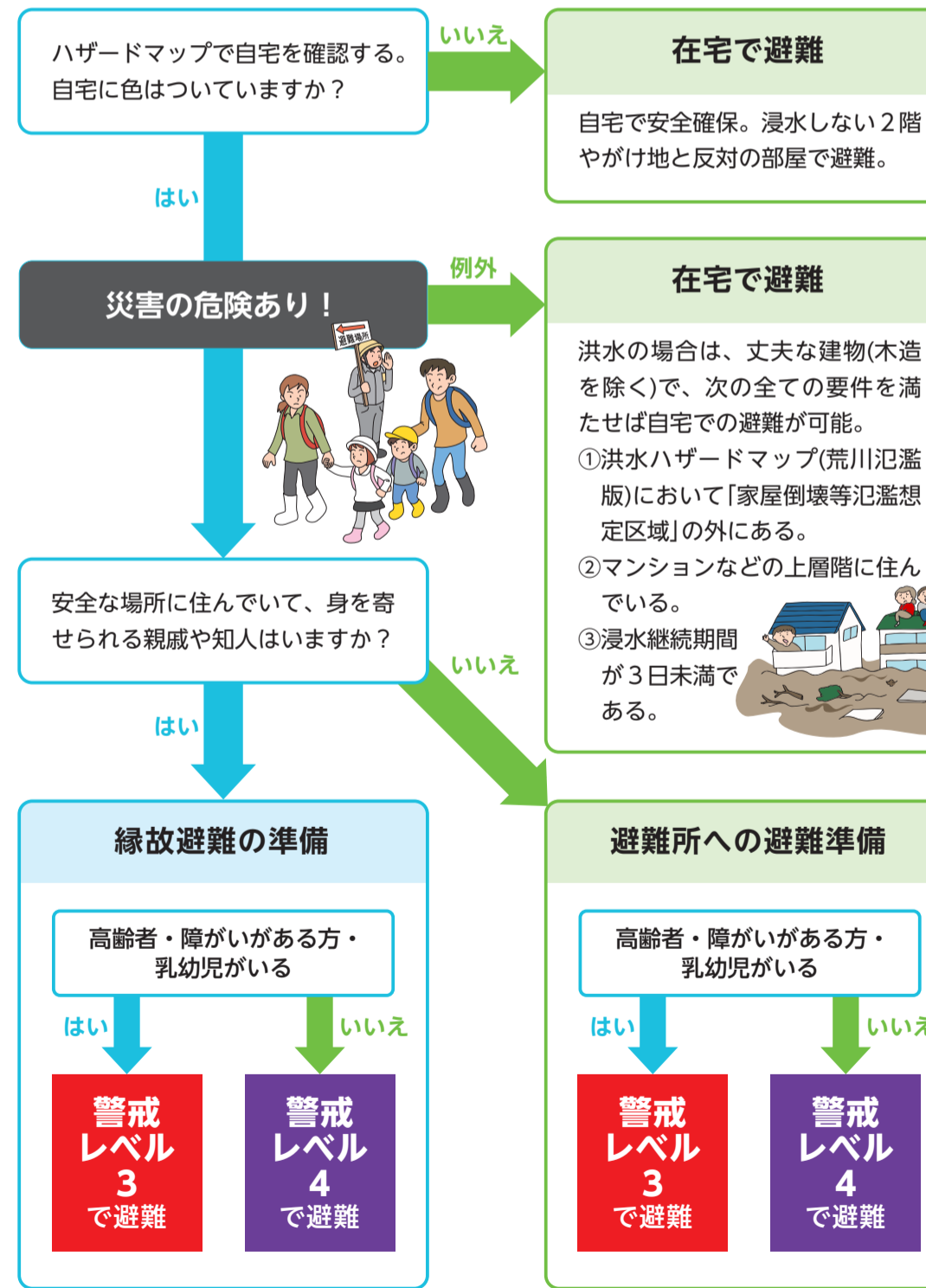
警戒レベル	区が発令する避難情報	とるべき行動
5	緊急安全確保	命の危機 直ちに安全確保
—— 警戒レベル4までに必ず避難 ——		
4	避難指示	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	高齢者などは、早めの避難を開始
2	洪水注意報 大雨注意報	ハザードマップなどで避難行動を確認
1	早期注意情報	最新情報に注意し、災害の心構えを高める

※地震の場合、警戒レベルは発令されません。

- 避難とは「難」を避けること、安全を確保することです。安全な場所にいる人は避難する必要はありません。
- 危険な場所から、警戒レベル3で高齢者などは避難、警戒レベル4で全員避難です。
- 警戒レベル5でまだ避難できていない場合は、自宅の安全な部屋に移動するなど、直ちに身の安全を確保しましょう。
- 豪雨時の屋外避難は危険です。早めの避難を心がけましょう。



## 避難行動判定フロー(洪水・土砂災害)



### 避難する時の注意点

**危険な場所には近づかない**  
洪水時や川の水位が高いときは、絶対に川に近づいたり橋を渡ったりしないようにしましょう。

**冠水している道路は危険**  
マンホールや側溝のふたが外れている場合があります。やむを得ず移動するときは、傘などで地面を探りながら移動しましょう。

**車での避難は避けて**  
車での避難は緊急通行車両の通行の妨げになります。また、交通渋滞の原因となるほか、浸水すると動けなくなるので、特別な場合以外は徒歩で避難しましょう。



### ペット同行避難

避難所にペットを連れて避難できますが、受け入れには次の条件があります。※居住空間にペットを入れることはできません。

**受け入れるペットの種類**  
犬・猫・小鳥・その他の小動物(危険を及ぼさない動物など)

- 受け入れ条件**
- ケージ・リードを用意する
  - 餌・水などを用意し、餌やり・糞尿の始末は飼い主自身が行う
  - 基本的なしつけ(無駄吠えしない、飼い主の指示に従うなど)ができています
  - 犬は、狂犬病注射済票を持参する

